

テーマ

## ベッドサイドケア

### 安静により脳梗塞のリスクが高まる！？

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

「成人男性が3週間臥床すると血液量が572ml減少し、そのうちの518mlが血漿成分で、血漿量減少は比較的早い時期から始まる」との報告があります。では、なぜ血漿量は減少するのでしょうか？それは、臥床によって胸腔内の血液量が増大すると、心房内・大動脈弓等にある圧受容体が体液過剰を感知し、利尿を促進させるためです。血漿量が減少すると血液の粘稠度が上がり脳梗塞のリスクが高まります。安静が必要な場合はもちろんありますが、体位変換や安静度の範囲内でギャッチアップを行い、圧受容体への刺激に変化を与えていきましょう。そして可能な限り、早く離床を図っていききたいですね。



### 特定行為活動報告

糖尿病看護認定看護師・特定行為  
慢性疾患管理モデル(糖尿病ケア)

慢性疾患管理モデル（糖尿病ケア）の特定行為研修を受講し、インスリンの投与量の調整等の特定行為を修了しました。今年度より活動を開始し、看護外来でインスリン投与量の調整を行っています。

インスリン投与は摂取カロリーや身体活動量を中心とし患者さんの生活にあった血糖パターンマネジメントを行っていく必要があります。良好な血糖コントロールはもちろんですが、患者さんらしい生活を考えたインスリン投与量の調整を心がけています。

今後は入院患者さんのインスリン調整も視野に入れて活動していきたいと考えています。

